



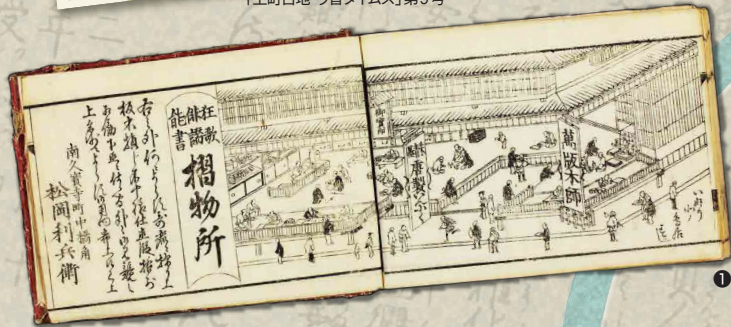
「上町台地 今昔タイムズ」第9号

過去と現在を行き来しながら未来を考える「上町台地・今昔タイムズ\*」第9号のテーマは「はじまりは上町台地“知”を運ぶ本のまち・大阪の軌跡をたどる」。古代世界に開かれた最先端の“知”の港に始まり、近世・近代には時代に先駆けた“知”の開拓者や媒体を生み出したまち・大阪を振り返り、その原点・上町台地からこれからのありようを問うています。

今回のフォーラムでは、書誌学者として近世・近代の大阪資料を幅広く蒐集され、上町台地と“本”をめぐる世界の豊かさを誰よりもご存知の、肥田皓三氏に基調講演をいただきます。さらに、橋爪節也先生の導きで、本来、本を愛する人たちの迷宮都市だった大阪と上町台地へ分け入ります。そして、今も残る路地のまちでことばを紡ぎ、ことばの森で子どもたちの心身を育む、藤田富美恵さんと埴狼星さんお二人の実践に学び、みなさまとごいっしょに“知”の舟を漕ぎ、上町台地発、本のまち・大阪の次のページを見つめます。

\*「上町台地・今昔タイムズ」のバックナンバーや、プロジェクトの歩みは、ホームページ「大阪ガスCEL」「U-CoRo」で検索してご覧いただけます。

「知」の舟を漕いで  
上町台地発、「本」をめぐる時空の旅へ  
ことばと本を愛する人たちの迷宮都市再び



1



2



3



4



5

6

7

■開催日時：2018年3月4日(日) 14:00~17:00頃 ※受付は13:30から  
■会場：大阪ガス実験集合住宅NEXT21 2階ホール  
大阪市天王寺区清水谷町6-16 (地下鉄「谷町六丁目駅」7号出口から徒歩5分ほど)

■プログラム(予定):  
14:00~14:10=開会 ご挨拶・趣旨説明  
14:10~15:10=基調講演 **上町台地から本をめぐる時空の旅へ**  
講師：肥田皓三氏(元関西大学文学部教授)  
15:20~17:00=トークセッション **ことばと本を愛する人たちの迷宮都市・大阪と上町台地再び**  
コメンテーター：藤田富美恵氏(童話作家)  
埴狼星氏(空堀ことば塾主宰)  
肥田皓三氏(前掲)  
コーディネーター：橋爪節也氏(大阪大学総合学術博物館教授/大学院文学研究科教授兼任)

◎参加申込：参加者名・所属・連絡先を書いて、  
FAX.06-6205-3512(CEL弘本)へお申込みくださるか、  
<https://www.sumai-machi-net.com/event/portal/event/33097>の申込フォームをご利用ください。

◎定員：50名程度 ※参加無料 ◎問合先：CEL弘本(電話06-6205-3518)まで

■主催：大阪ガスエネルギー・文化研究所(CEL) 企画：U-CoRo プロジェクト・ワーキング

背景は「摂津名所図会」(巻之四、1796年)より ①大阪商工銘家集(1846年)に描かれた「摺物所」店頭 ②幕末の地誌「摂津名所図会大成」(浪速叢書8)1928年所収の挿絵、賑わつた斎橋筋の書店街 ③江戸時代の百科事典「和漢三才図会」の板影の図 ④井原西鶴「本朝桜陰比事」の挿絵に描かれた貸本屋(上段左から3人目) ⑤立川文庫「豊臣秀吉」(1912年)、「猿飛佐助」(1919年) ⑥プラトン社の文芸誌「女性」(1923年11月号) ⑦手塚治虫の初期作品「新寶島」の表紙(小学館刊の複製版、初版は1947年、育英出版刊) ※⑧、背景は大阪市立図書館デジタルアーカイブ、⑨⑩は国立国会図書館デジタルコレクションより



地下鉄「谷町六丁目駅」7号出口から徒歩5分ほど